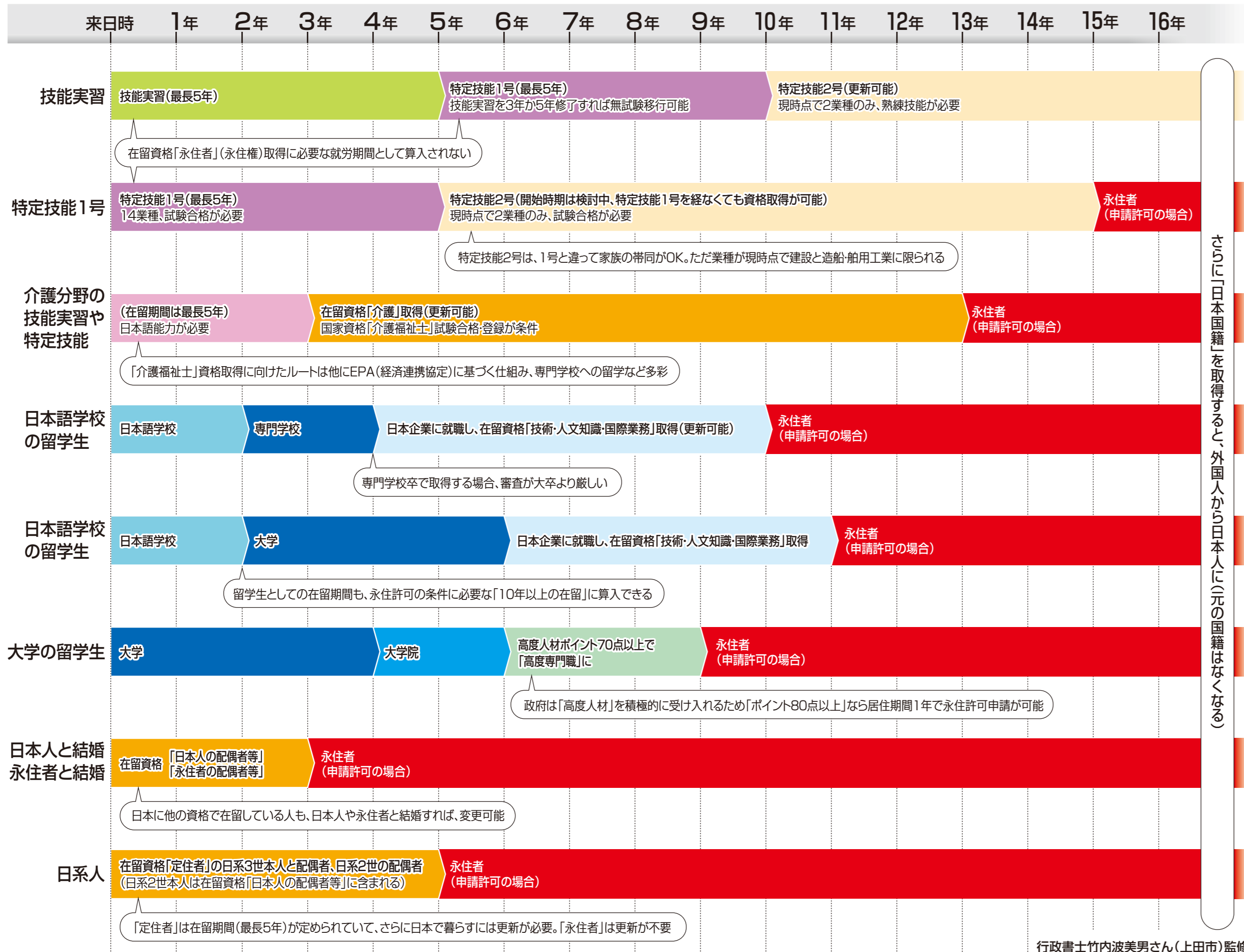


「日本定住・永住への道」イメージ

「永住者」への移行はいずれも順調な場合 居住、就労期間の他に、収入額や納税、年金・健康保険料の支払い状況、犯罪歴なども審査対象



さらに日本国籍を取得すると、外国人から日本人に(元の国籍はなくなる)

行政書士竹内波美さん(上田市)監修

言語教育充実が国の責務

佐藤 友則氏

信州大教授

「日本語教育」は、外国人が日本に定住し、永住者となるための重要なステップである。しかし、多くの外国人は、日本語を学ぶ機会が限られている。これは、彼らが日本社会で生活し、働く上で大きな障壁となっている。政府は、日本語教育の充実を、外国人の定住と永住を促進するための重要な責務と捉えるべきである。特に、日本語能力が高い外国人は、日本企業に就職し、在留資格「技術・人文知識・国際業務」を取得し、永住者となる可能性がある。したがって、日本語教育の充実を、外国人の定住と永住を促進するための重要な責務と捉えるべきである。

子育て女性への支援必要

外国人が日本で暮らす上での課題

高谷 幸氏

東京大大学院准教授

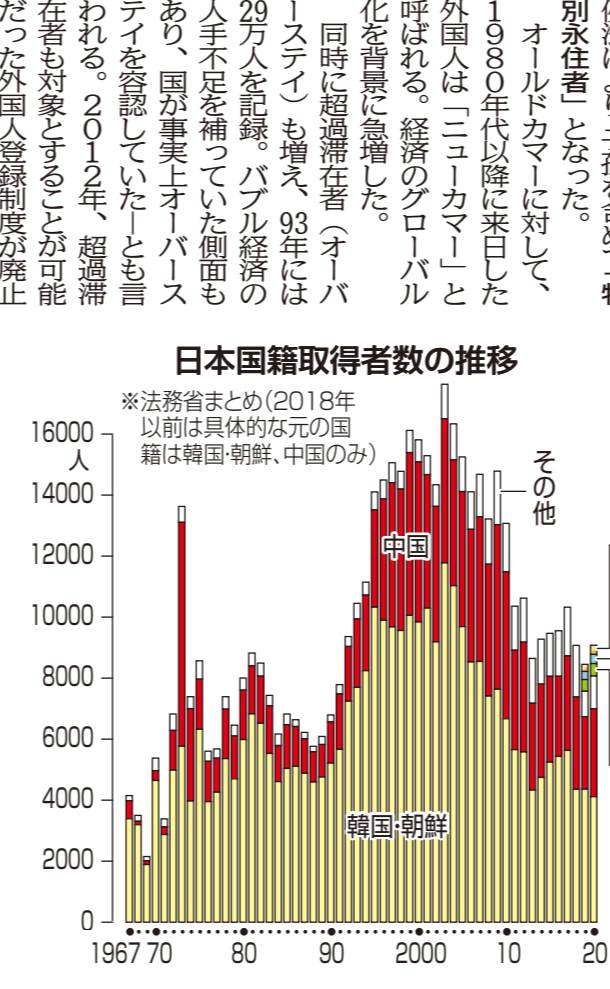
「外国人が日本で暮らす上での課題」は、子育て女性にとって特に深刻である。外国人女性は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、子育てに関する支援が不足していることが大きな課題となっている。外国人女性は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、子育てに関する支援が不足していることが大きな課題となっている。外国人女性は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、子育てに関する支援が不足していることが大きな課題となっている。



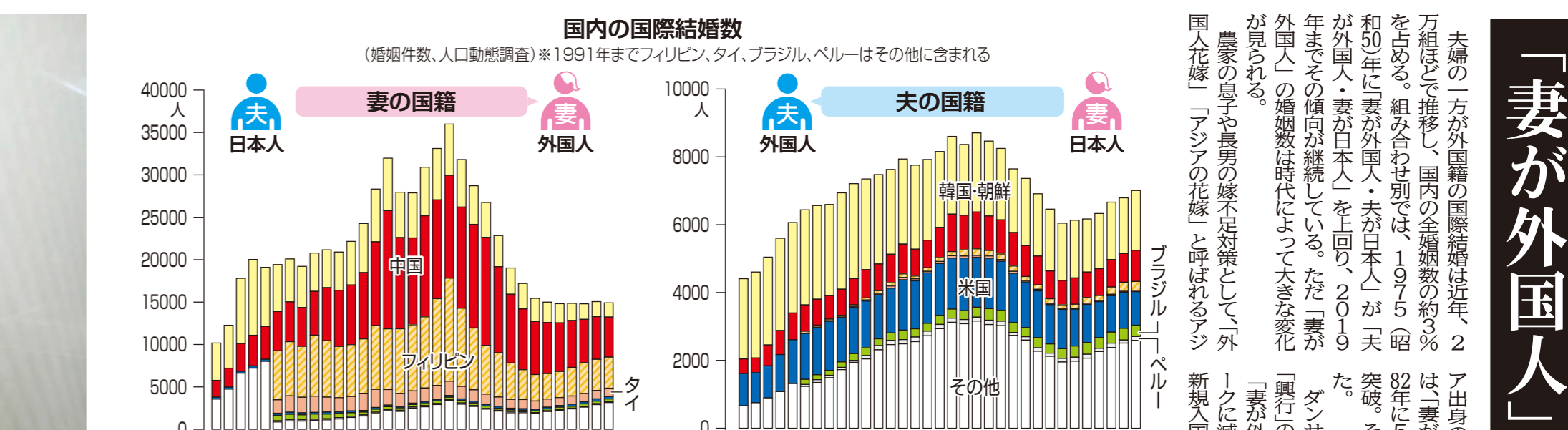
外国人日本で暮らす道は

連載「五色のメビウス」は第6部「彼女たちの孤独」まで、日系人労働者や、日本人と結婚した女性をはじめ日本で長く暮らす外国人の苦悩や困難さをつぶさに見てきた。在留資格の拡充で今後、日本に長期にわたって住み、永住する人は増える可能性もある。どんな道があるのか、何が課題なのか、整理した。

在留資格拡充 永住者増える可能性も



日本は戦後から、外国人労働者や、日本人と結婚した女性をはじめ、日本に長く暮らす外国人が増え続けている。その数は、1967年の約10万人から、2019年には約250万人に増加している。この増加は、日本経済の発展と、外国人労働者の需要の増加によるものである。しかし、外国人労働者の増加は、日本社会にさまざまな課題を生み出している。特に、外国人労働者の生活環境の整備や、日本語教育の充実が求められている。また、外国人労働者の増加は、日本社会の多文化化を促進している。これは、日本社会の発展にとって重要な要素となっている。



「まじめな日本人望む人」多く

根強い国際結婚の需要

「まじめな日本人望む人」多く、国際結婚の需要は根強い。外国人女性は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、子育てに関する支援が不足していることが大きな課題となっている。外国人女性は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、子育てに関する支援が不足していることが大きな課題となっている。

地域で暮らす困難さ 思う

地域で暮らす外国人は、さまざまな困難さを感じている。特に、言語の壁や、文化の違いが大きな課題となっている。外国人は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、言語の壁や、文化の違いが大きな課題となっている。外国人は、日本社会での生活に多くの困難を抱えている。特に、言語の壁や、文化の違いが大きな課題となっている。

取材班から